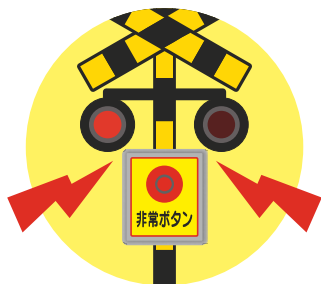




警報機が鳴っている間は、
踏切内に立ち入らないでください。
あなたの大切な人にも、ぜひお伝えください。



警報機が鳴り始めたら…
無理な横断はやめて、
踏切内に立ち入らないで
ください。



踏切内で異常を認めたら…
脱輪やエンストした場合は…
直ちに非常ボタンを押してください。



非常ボタンを押しても…
列車はすぐには止まれませんので、
踏切内に立ち入らないでください。



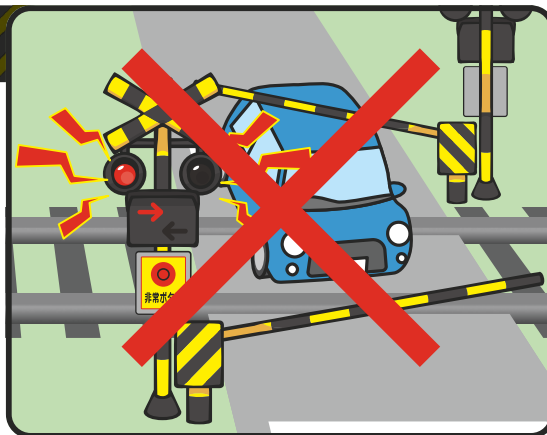
冬季は積雪や吹雪により、踏切が
見えにくくなります。誤って線路内に
進入しないように気をつけてください。

※一部には、非常ボタンが設置されていない踏切があります。その場合は列車に向かって手を大きく振るなどして、異常を知らせてください。発煙筒や赤色灯(旗)を使用すると効果的です。

踏切の前では、必ず一旦停止を。

警報機が鳴りはじめたときは…

無理な横断はやめ、
絶対に踏切内に入らないでください。

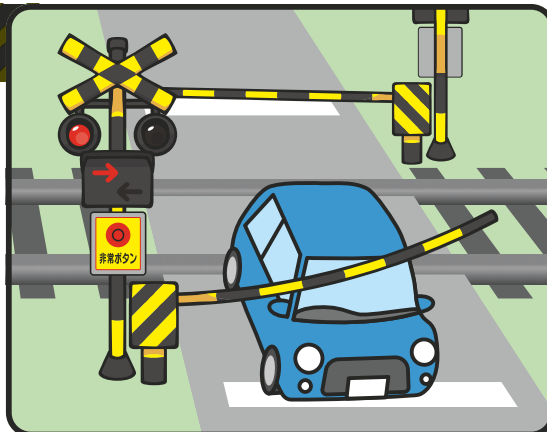


踏切に車が閉じこめられたときは…

そのままゆっくり
車を前進させてください。

ゆっくり前進

車で押せば、しゃ断棒は前上方に跳ね上がります。



踏切で車が動かなくなったときは…

列車は、すぐには止まれません。
まず異常を知らせてください。

① 非常ボタンがある場合

「非常ボタン」を押してください。
異常のあることが列車に伝わります。

② 非常ボタンがない場合

線路外の安全な場所から列車に向かって大きく振るなどして、異常を知らせてください。
発煙筒や、赤色灯(旗)を使用すると効果的です。



踏切事故 ^{ゼロ} 運動

JR東日本
東北運輸局(後援)
山形県警察